

Stand UP! NO.16

2016年11月18日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

2016年度年末手当妥結

基準内賃金×1.5カ月

JR貨物労組は本日、年末手当の最終交渉を行い、「基準内賃金×1.5カ月」で妥結しました。

この間青年部では、職場で青年部員が奮闘した結果が中間決算での好成績に繋がったことや、要員不足で疲弊した職場の思いを会社へ突き付けてきましたが、会社は第4回交渉において「昨年冬も厳しい」と、私たちの日頃の努力や思いを踏みにじる考えを示してきました。回答指定日に向けて職場からの粘り強い闘いにより、会社の頑なな姿勢を突き崩し1.5カ月まで押し上げることができました。しかし、私たちの要求は『基準内賃金×2.6カ月』であり到底納得できるものではありません。鉄道事業部門の黒字化ばかりに目を向け、一方では収入拡大と謳っておきながら輪転資材が不足した状態を放置している現状があります。この経営責任を私たち青年部員に押し付けてきたふざけた姿勢を認めるわけにはいきません!!

この悔しさを忘れることなく声をあげ続け、当たり前前の労働条件を勝ち取っていく為、共に闘っていきましょう!

**次なる闘いで要求実現に向け
職場活動を基礎に全青年部員の団結を勝ちとろう!!**